

研究課題名	2017-011 終末期口腔扁平上皮癌患者の栄養学的評価
実施責任者	名古屋掖済会病院 歯科口腔外科 部長 阿部厚
研究の概要	<p>終末期の口腔がんの患者様は、咀嚼嚥下機能が失われ食事摂取量が低下して全身状態が悪化して亡くなることが多いとされています。しかし、栄養状態と患者様の余命の関係を検討した報告は多くありません。</p> <p>当院の電子カルテシステムから口腔がんの患者様の情報を収集して、どのような要因が患者様の余命に影響するのかを検討します。</p> <p>この内容には氏名・住所といった個人を特定できるような情報は含みません。</p>
実施の期間	2005年 1月 1日 より 2016年 12月 31日 まで
研究対象	上記の期間に当院歯科口腔外科にて、口腔がん再建手術を受けられました患者様と、終末期口腔がんのため入院されました患者様が対象になります。